

量の見込み及び確保方策について

【量の見込みの算出について】

量の見込みの算出については、前回の会議で説明したとおり、以下の条件で算出しました。

条件

1. 基本的に、ニーズ調査の結果から算出を行う。
2. ①で算出した数値が、平成 25 年度の実績値の 2. 5 倍（※）を超える場合は、修正を加えることとし、過去の実績値から算出を行う。
3. 過去の実績値がない項目は、事業対象者の人口推計等から算出を行う。
4. ニーズ調査対象外の項目は、過去の実績値や、人口推計等から算出を行う。

※ 2. 5 倍の基準値は、0 歳児保育の実績から、変動値が 2. 3 倍であったことと、ニーズ調査の結果を活かすため、設定した。

しかし、平成 27 年 3 月時点で、来年度の利用実績が見込める、以下の項目については、量の見込みを、より正確な数値とするため、実績（見込）値としました。

また、来年度以降の数値については、本来であれば、人口推計とともに、減少しますが、保育ニーズは高まっていることから、横ばいの数値としています。

【確保方策について】

以下の 1・2 の項目の確保方策については、これまでは、各施設の定員としていました。しかし、来年度の利用申し込みがあった時点で、施設全体で、部屋割り等を変更することで、面積基準における定員の一時的な変更（弾力化）を行っております。その結果、現在の利用申し込み数に対し、待機児童を解消しています。

そこで、本計画における確保方策の数値についても、以下のとおり、最大受入可能人数とし、数値上の待機児童を 0 とするよう修正をいたします。

【修正項目】

1. (1) - ②保育園（所）など（2号認定）
2. (1) - ②保育園（所）など（3号認定）
3. (2) - ⑪放課後児童健全育成事業

1. (1)－②保育園(所)など(2号認定)

1. 2号認定		H27年	H28年	H29年	H30年	H31年	
これまで	①量の見込み	140	138	137	132	125	
	②確保方策	保育園	165	165	165	165	165
		町外施設	3	3	3	3	3
	過不足	28	30	31	36	43	

修正後	①量の見込み	135	135	135	135	135	
	②確保方策	保育園	145	145	145	145	145
		町外施設	3	3	3	3	3
	過不足	13	13	13	13	13	

※確保方策は最大受入可能人数です。

2. (1)－②保育園(所)など(3号認定)

2. 3号認定		H27年	H28年	H29年	H30年	H31年	
これまで	①量の見込み	164	156	150	143	139	
	②確保方策	保育園	80	99	118	137	139
		町外施設	0	0	0	0	0
	過不足	△84	△57	△32	△6	0	

修正後	①量の見込み	88	88	88	88	88	
	②確保方策	保育園	100	100	100	100	100
		町外施設	0	0	0	0	0
	過不足	12	12	12	12	12	

※確保方策は最大受入可能人数です。

3.(2)－⑪放課後児童健全育成事業

		H27年	H28年	H29年	H30年	H31年
これまで	①量の見込み	261	247	225	215	209
	②確保方策	175	175	215	215	215
	過不足	△86	△82	△10	0	6

修正後	①量の見込み	151	151	151	151	151
	②確保方策	175	175	215	215	215
	過不足	24	24	64	64	64

※確保方策は最大受入可能人数です。